

知床の窓から見えるもの

2015年3月4日（水曜日）

「診療所のお雛さま」

診療所が、オープンして3年目を迎えようとしています。

オープン当初からお雛さまを飾りたいという願いが今年やっと叶いました。

私のおひな様を実家から、だいたい雛だけを持ってきて、2階のスタッフステーションに飾っていたところ、通所リハビリに通われている利用者さんから寄贈して頂けることになりました。

診療所の建物は、うなぎの寝床のように長く、2階のスタッフステーションのある廊下は、歩行リハビリには最適です。毎日、リハビリを頑張っている方々が、ステーションにいる看護師や看護助手とのおしゃべりを楽しんでいかれます。

「今日は、氷（流氷）がいっぱいだったよ」

「あまり魚が採れていないね～」

「明日は、吹く（吹雪く）よ～」等など、私たちにとっても、大切な地域の情報源となっています。

入院中は、地域での生活より季節感が少なくなりますね。その季節感を少しでも感じて頂けるように、これからも工夫をしていきたいと思っています。そのためのお手伝いチームの広がりをつくっていくことができたらいいなあ・・・と新たな願いが芽生えております。また、これからも何かとお力添えをどうぞよろしくお願いたします。

最後に毎日リハビリを頑張っておられる W さん
大切なお雛さまをありがとうございました。
職員一同感謝いたしております。

